

前期試験における感染防止策について

2020年8月6日

本学では、8月18日（火）から行う前期試験における感染防止策を以下のとおり実施いたします。感染防止策へのご協力、よろしくお願いいたします。

■前期試験における感染防止策

①発熱者モニタリング（対象：学生、教職員、学外者）

愛学館1階ロビーでサーモカメラを利用した発熱者モニタリングを実施します。

発熱がある場合は、構内の入構を認めません。

【実施期間】2020年8月18日(火)～8月27日(木)

②受験者控室の開放

試験室前で学生が密にならないよう、躬行館食堂を受験者控室として開放します。

③試験室・控室の消毒

試験室及び控室（躬行館食堂）は毎時間消毒を実施します。

消毒作業実施のため、試験室への入室は試験開始15分前からとします。（1講時目は除く）

④試験開始時間の変更

朝の通勤ラッシュを避けるため、試験の開始時間を10時30分に変更します。

⑤1 試験室あたりの試験定員の変更

試験定員を講義室定員の半数以下とし、全員マスクを着用して試験を実施します。

⑥体調不良学生に対する追試験実施

発熱（37.5℃以上）・咳・全身倦怠感など、体調に不安のある学生の欠席を認め、欠席者に対しては追試験の受験を許可します。

■学生の皆さんへのお願い

- ・感染防止（マスク着用、手洗い、手指消毒）にご協力ください。
- ・発熱（37.5℃以上）・咳・全身倦怠感など、体調に不安がある時は登校せず、大学に連絡してください。
- ・試験終了後は学内に止まることなく、速やかに帰宅してください。
- ・控室では、他の学生と会話をしない、席の移動をしないなど感染防止を心がけてください。
- ・愛学館1階で発熱者モニタリングを行うため、可能な限り自転車での通学は控えてください。

以上